



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン ニュースレター

September 2021 No.79



特集

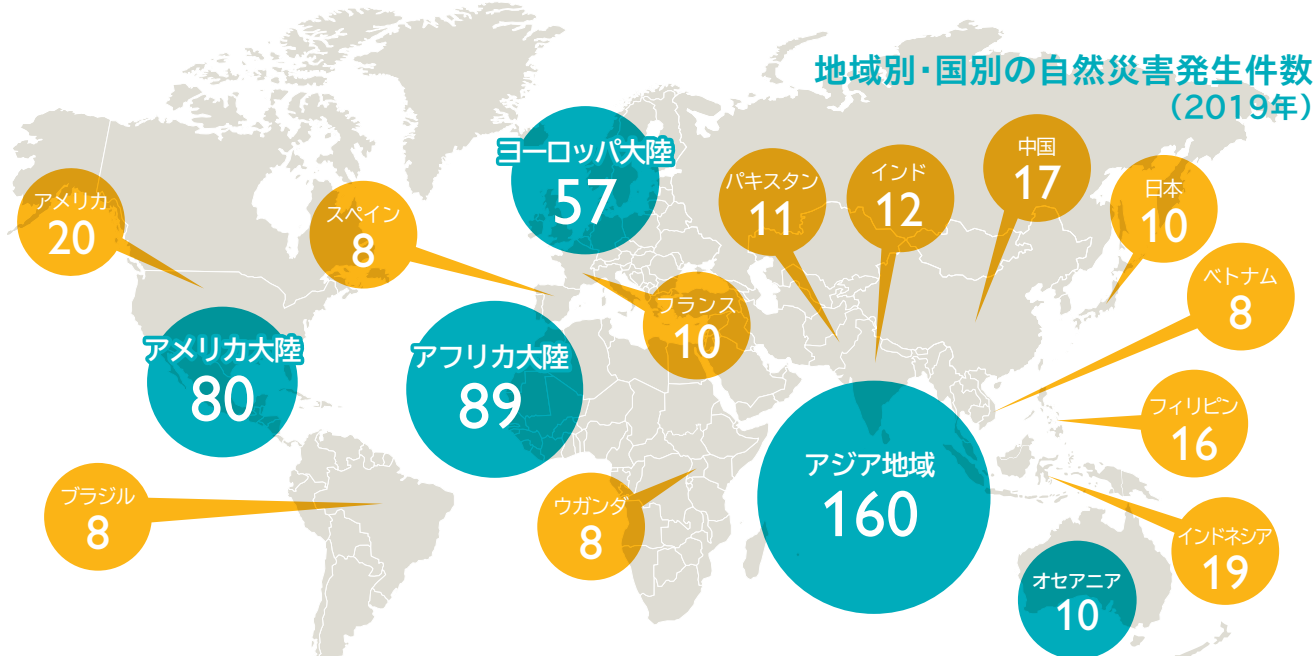
気候危機と大規模災害から  
子どもたちを守る

## 特集

# 気候危機と大規模災害から子どもたちを守る

地球温暖化や自然環境への影響など、気候変動がもたらす人々への影響は深刻です。各国の取り組みにも関わらず自然災害の発生件数は増加していて、世界の約3人に1人にあたる7億1,000万人の子どもたちが深刻な影響を受けるといわれています。

今年11月には国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)が開催され、各国の代表などが気候危機問題について話し合います。自然災害から、子どもたちを守るために、いま行動が求められています。



2019年はあわせて396件発生し、過去10年と比較して増加傾向にあります。

出典: CRED. Natural Disasters 2019. Brussels: CRED; 2020.

## 気候危機・自然災害が子どもたちへ及ぼす主な影響



### 食料・栄養

海や森、農作物などが被害にあうと食料不足に。



### 水・衛生

干ばつによる水不足や衛生状態の悪化。



### 保健医療

必要な治療が受けられなかったり、こころのケアも必要。



### 教育

学校が避難所になり授業が受けられない。



### 生計

家族が収入源や財産を失い経済的に困難な状況に。



### 子どもの保護

経済的理由から児童婚や児童労働に直面するリスクも。

## 気候危機 「世界のリーダーへ」子どもたちからのメッセージ

自然災害の発生が最も多いアジア地域に暮らす子どもたちは、気候変動問題や気候危機についてどのように考えているのでしょうか。セーブ・ザ・チルドレンは子どもたちから声を聞きました。今回はその中から日本の子どもたちの声を紹介します。

### 日本の子ども・若者が伝えたいメッセージ

自分たちの世代ではあまり悪影響がないからと言って、私たちやそれより後の世代に問題を先送りにしないで欲しい

クリーンエネルギーの開発、排出量や化石燃料の規制を

地球は1つしかないので各国が1つになって、議論して環境問題を考えてほしい

既存の利害やお金にこだわり、出来ない理由を探すのはやめにしてほしい

どんな対策をしているのかを若者にもわかるように教えてほしい。気軽に自分の意見を伝えられる手段が欲しい

二酸化炭素削減に向け具体的な取り組みへの資金的支援を

※日本に暮らす15歳~17歳の子どもたち計516人から声が聞きました。調査結果の詳細はこちら



### 気候変動の問題をアートであらわそう!「国際アートコンテスト」

セーブ・ザ・チルドレンでは、気候変動に対する思いやメッセージを、アート作品を通じて子どもたちが発信する「国際アートコンテスト」を実施しました。詳しくはセーブ・ザ・チルドレンのウェブサイトで紹介しています。



# 気候変動などがもたらす 食料と栄養の危機から 子どもたちを守る

地球温暖化や干ばつ、洪水、豪雨などは、食料源となる農作物の生産量などに深刻な影響を及ぼしています。加えて、紛争や新型コロナウイルス感染症の流行が、食料不足や栄養不良を加速させる要因となっています。子どもたちを食料と栄養の危機から守るため、今すぐ行動が必要です。

## 食料と栄養の危機の現状を知ろう

**Q1** 世界でどのくらいの方が食料不足の状況にありますか？

**A1** 国連によると2020年は世界人口のおよそ30%の23億人が食料不足、世界人口の約10人に1人に相当する最大8億1,100万人が栄養不足の状態に置かれているといわれています。

**Q2** 栄養不足だとどうなるの？

**A2** 子どもの身体、認知機能の発達に影響を及ぼし、免疫力も低下するため病気や死亡のリスクが高くなります。

**Q3** 世界の食料危機や栄養問題に対応するために必要な行動は？

**A3** 必要な行動は主に4つあります。  
1. 紛争や人道危機下の栄養不良に対処する  
2. 保健と栄養の支援を強化する  
3. 母乳育児を支援する  
4. 食料へのアクセスを確保する

### 食料と栄養問題への 取り組み強化を

世界は未曾有の食料と栄養の危機に直面しています。特に最も貧しく弱い立場に置かれた子どもたちが、飢餓や慢性的な栄養不良に苦しんでいます。この危機に対処するため、私たちは1. 紛争や人道危機下の飢餓・栄養不良への対処、2. 保健と栄養支援の仕組みの強化、3. 母乳育児支援や母乳代替品のマーケティングの国際規準

遵守の強化、4. 食料へのアクセス確保と持続可能な仕組みの構築、を国際社会が支援するよう訴えています。2021年9月の国連食料システムサミット、12月の日本政府主催による東京栄養サミットは、食料と栄養問題への取り組みを強化する重要な機会です。



アドホカシー室  
アドホカシーヘッド  
堀江由美子

出典: The State of Food Security and Nutrition in the World 2021-UNICEF DATA  
4 Nutrition Critical - The Save the Children Fund 2020

## ウガンダでの栄養支援

### 栄養指導を通して母子の栄養摂取を促進

ウガンダは、人口1人当たりの国民総所得(GNI)が低く、農村地域の母子の栄養不良は厳しい状況にあります。こうした課題に対処するため、ウガンダ西部地域の中でも栄養不良の割合が他と比較して高いカセセ県の母子を対象とした支援を実施しています。

ウガンダ



ウガンダのカセセ県にある保健医療施設には、病気のほか、栄養不良の問題を抱える多くの母子が訪れ、診察の順番を待っています。



診察を待っている時間を利用して、この事業で研修を受けた保健職員や保健ボランティアが母親たちに対して栄養指導をします。



また、セーブ・ザ・チルドレンは、母子の栄養摂取指導の相談窓口を設置しました。



相談窓口では栄養指導の教材を使って、栄養の概念を説明したり、栄養不良であるかどうかを、上腕周囲径(MUAC)を使って判断します。



そのほか、保健医療施設内にデモンストレーション用の家庭菜園を設置し、母親に自宅にスペースがあれば同様の菜園をつくるよう推奨しています。



実際に家庭菜園をつくった母親は、「以前とは比べ物にならないほど、自分と子どもの体調が良くなった。母乳の出方もよい」と話します。

## 新型コロナウイルス感染症流行下における国内での取り組み

# 「夏休み子どもの食 応援ボックス」提供



夏休みのような長期休暇期間は、学校給食がなくなり、子どもたちの食事環境が悪化しやすい傾向が見られます。セーブ・ザ・チルドレンは他団体と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済的に困難な状況にある家庭に、7月下旬の夏休み開始時期にあわせて応援ボックスを届けました。対象は、2021年1月から6月までの間に緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の対象となった21都道府県の約3,000世帯です。応援ボックスには、米や麺、副菜となるレトルト食品、お菓子などが入っています。

### 応援ボックス利用者からの声

子どもと高齢の両親も抱えておりますので本当に助かります。一人じゃない、助けてくださる方々がいることに感謝です。

今回初めて応募しました。コロナで給料が減ったのがきっかけで親戚から紹介されました。夏休みに入り子どもとの時間が増えるなか、本当に助かりました。子どもも大喜びです。給料が減った、収入が少ない家庭にはとても大切な活動だと思います。もっとこういった活動が世の中に知ってもらえる事を願っています。

すごくたくさん入っていて、とても感動しました。本当にありがとうございます。うちは長男長女に障害があり、下にも中学生2人と小学生がいます。今現在休職中で夏休みもとても食費がかかるので憂鬱でした。コロナに負けずになんとか頑張っていきます。大変なこともあります。人の優しさに触れる機会も増えて、私もそういうふうになんか人を支えられるようになりたいと思います。



## 大規模災害にどう備える？

東日本大震災から今年で10年、熊本地震から5年が経ちます。セーブ・ザ・チルドレンは岩手・宮城・福島県と熊本県で緊急・復興支援を実施しました。一緒に活動した子どもたちがいま、当時を振り返り、必要だったことや事前に準備すべきものなどについて話してくれました。



### 教えて！災害時・災害後に必要だった「コト」や「モノ」

連絡手段の確保は大切。電話、メールなども送受信できず、家族との連絡も取れませんでした。今はSNSなどでの連絡手段も増えましたが、携帯電話が使えない場合に備え、掲示板など家族で連絡手段についてルールを決めておくといいと思います。

宮城県石巻市出身 学生

地震が起きた直後から停電、断水が長く続きました。家にあったガスコンロやろうそくで停電に対応し、水は1日に数回、近くの湧水までくみについて沸騰して使っていました。緊急時に備えて、ガスコンロ、ライト、水は準備しておくべきです。

熊本県益城町出身 高校2年生

私は幸いそこまで大きな被害にあいませでしたが、学校再開後、家族や家を失った友人に、どのような言葉をかければいいのか、どのように接していいのかから悩みました。被災した友人への接し方などの知識や情報が欲しかったです。

岩手県陸前高田市出身 会社員

地震が起きた4月はまだ気温が低く、配布された毛布1枚では寒くて眠れなかったこともあり。1週間ほど車中泊をしましたが、フロントガラスや横の窓ガラスにも段ボールを置いて冷気が入ってこないようにしていました。もう1枚余分に毛布やカイロなどがあればよかったなと思いました。寒さ対策は重要です。

熊本県益城町出身 高校1年生

### 子どもにやさしい防災 もしもの時のために子どもと一緒に備えましょう。

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちの意見を聞きながら非常用持ち出し袋のチェックリストをつくりました。日本語のほか、英語・中国語・ポルトガル語版もあります。そのほか、避難生活で役立つ子どもの遊びやこころのケアの情報なども紹介しています。ぜひ、「子どもにやさしい防災」の特設サイトからご覧ください。



# 最新情報 緊急下の子どもたちの心のケア

## 子どもが学ぶ心のケア “I Support My Friends”誕生

2021年7月、セーブ・ザ・チルドレンは国際機関などと共同で子どもによる子どものための心のケアのトレーニングキット

“I Support My Friends”を発表しました。心理的応急処置の行動原則「見る、聴く、つなぐ」に基づき、子どもや若者が困難に直面している友人をサポートするためのスキルと知識を身につけるためのものです。このキットは、子どもたちの意見を聞きながら完成させました。



日本で実施したパイロットテスト

### “I Support My Friends”ができるまで

#### 制作開始

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとセーブ・ザ・チルドレン・デンマークが制作を開始。



日本で実施したパイロットテスト  
岩手・宮城・福島県の子どもたちが参加

### トルコでパイロットテストを実施



ヨルダンで実施したパイロットテスト

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

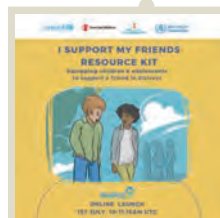
第3回国連防災世界会議で、仙台防災枠組2015-2030採択。子どもと若者が「変革の主体者」となることが明示され、制作のきっかけに。



モンゴルで実施したパイロットテスト

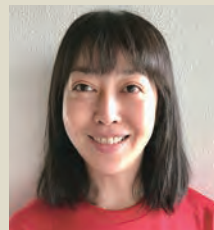
国連や国際NGO、大学などの専門家によるトレーニングマニュアルのレビューと、セーブ・ザ・チルドレンによる改訂作業

セーブ・ザ・チルドレンとユニセフ、世界保健機関(WHO) MHPSS Collaborativeの共同制作開始



2021年7月に完成

### 開発チーム担当者に聞く “I Support My Friends”



国内事業部  
国内緊急対応事業  
プログラムマネージャー  
赤坂美幸

困っている人を助けるという行為は、子どもや若者も自然にやっていることです。自然災害発生後などの危機的状況下でも、子どもたちは友人の様子を察知し、友だちや仲間の経験する苦痛を共感、理解することができます。

“I Support My Friends”は、子どもが友だちを思いやり、サポートする姿勢や行動を強化し、新たなスキルを身につけて子どもの自信を高めるピアサポート(友だち同士のサポート)のモデルのひとつです。

トレーニングを通して、子どもたちは、危機的状況下で友だちが一般的に示すストレス反応について学び、友だちの心を傷つけずにサポートする方法についてグループワークや演習を通して学びます。また、自分自身のセルフケアについても学びます。

### パイロットテストに参加した子どもたちの声

友人をサポートするための聞き方やボディランゲージの上手な使い方を学びました。  
(ヨルダン)

「見る」「聞く」「つなぐ」をしっかり学ぶことができました。日常生活の中で使えそうな気がします。  
(日本)

子どもだけでなく、大人にも学んでほしいです。  
(日本)

同級生が、教室で一人で泣いているのを見ました。その時、私は自分ができる範囲で人を助けられることができました。  
(モンゴル)

私の役割は、友だちの問題をすべて解決することではなく、友だちを導くことだということがやっと分かりました。  
(ヨルダン)

グループでのロールプレイが印象的でした。私たちは落ち込んだり、不安になったりすることがあるので、友だちの話を聞いて支えてあげることがとても大切です。  
(モンゴル)

### もっと知りたい 緊急下の子どもたちの心のケア

災害時の子どもたちの心のケアや、つらい思いをしている友だちを支えるヒントなどの情報が動画でわかりやすく紹介されています。日ごろ子どもと関わる大人の方もぜひご覧ください。



# PARTNERSHIP INFORMATION

## Interview

ビジネスを通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきたい

サラヤ株式会社

取締役・コミュニケーション本部本部長

いのちをつなぐ

SARAYA

代島 裕世 様



### 世界の「衛生・環境・健康」の向上に貢献

家庭用・業務用洗剤や消毒剤などの衛生用品の開発・製造・販売を行っているサラヤ株式会社は、世界の「衛生・環境・健康」の向上に貢献することを目指しています。当社は、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、さまざまな事業を推進しており、2017年には、「SDGs推進副本部長(外務大臣)表彰」を受賞しました。

### 経営方針がスタッフ一人ひとりに浸透

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立理事として当社の創業者が関わっていた経緯から、継続してセーブ・ザ・チルドレンを支援しています。

当社はウガンダに生産拠点が有り、無添加せっけんブランドarau。(アラウ。)シリーズの売り上げの一部をセーブ・ザ・チルドレンに寄付し、ウガンダでの母子栄養改善事業や生計向上事業などを支援しています。

以前ウガンダを訪問した際、アルコール消毒剤を製造する現地工場に働くスタッフが、「子どもに誇れる仕事があった。ここでは世の中に貢献していると誇りを感じられる。子どもたちに誇れる会社だ」と私に語ってくれました。日頃から研修などを通じて当社の理念や経営方針をスタッフと共有しているのですが、ウガンダのスタッフ一人ひとりにまで伝わっているのだと感じ、大変うれしく思います。

### これからも「子どもたちに誇れる会社」であるために

新型コロナウイルス感染症の影響で、お客様の感染予防への意識は急速に高まり、当社の役割も高まっています。今後もビジネスを通じて、地球環境課題や社会課題への対応も続け、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



## Information

# ACCEA

印刷技術・サービスを活かし  
10年にわたり、活動を支援



オンデマンド印刷のアクセシアには、約10年にわたり、情報提供や、活動報告などのためにセーブ・ザ・チルドレンの活動に欠かせない印刷物の無償印刷協力と、現金でのご寄付の両方で、日本と世界の子どもたちのための支援活動を支えていただいています。また、全国の店舗に設置された募金箱からもご支援頂いています。

## 株式会社 アドキャスト

世の中に還元できるものがあれば  
事業にしていきたい

不動産コンサルティング企業の株式会社アドキャストからは、東日本大震災復興支援事業の時から継続的にご支援をいただいています。「世の中を変えていく、変革する」という企業方針のもと、世の中に還元できるものがあれば事業にしていきたいという想いから、世界中の子どもたちへの支援活動全般を支えていただいています。

# SONY

感動あふれる  
未来の実現を目指して

ソニーグループ株式会社からは、2011年よりグループ全体でご支援をいただいています。「子どものための災害時緊急・復興ファンド」をセーブ・ザ・チルドレンと共同で設立し、日本を含む世界各地での緊急支援に対応しているほか、地域・学校における災害などに対する備えを強化する取り組みを共同で推進しています。



## スタッフの一日

ウガンダ駐在員  
萩原 宏子

南スーダンやコンゴ民主共和国の難民の子どもの保護事業を行っています。遊びを通じた心理社会的支援や虐待から子どもを守る活動をしています。



ウガンダ北西部の難民居住区

### ウガンダってどんな所？

アフリカ東部の内陸国。コンゴ民主共和国や南スーダンなど5ヶ国と国境を接しています。アフリカ最大の難民受け入れ国で、147万人を超える難民が避難生活を送っています。多民族・多言語国家で、公用語は英語とスワヒリ語です。

### 1 「Good morning!」(おはよう!) 出勤時間 08:50

西部の都市  
フォート・ポータル  
の事務所  
に勤務してい  
ます。スタッフ数は約15人  
です。朝一番に、事務所入口で  
検温と手の消毒をします。



### 3 ランチ 13:00

定番のローカル料理。米やイ  
モなど複数の主食と煮込んだ  
豆などおいしいです。量  
が多いので、プラスチック容  
器持参で持ち帰っています。



### 5 18:00

散歩や買い出しに行きます。  
野菜が豊富な市場、チャパ  
ティ(小麦粉を薄く練って焼  
いたパンの一種)の露店、羊  
が丸ごとぶら下がっている肉  
屋などを回ります。

### 2 午前の仕事 09:00

活動の相談などのメールが  
スタッフから届くので確認し  
ます。新型コロナウイルス感  
染症の影響もあり、外部の人  
との打合わせはオンライン  
会議で行うこともあります。



### 4 午後の仕事 14:00

事務所のスタッフと支援を要  
する子どもへの対応につ  
いて話し合います。性被害や親  
の失踪、児童労働など、複雑  
なケースも少なくありません。



セーブ・ザ・チルドレンが運営する子どもひろば

## 災害時の子ども支援-守るべき28の基準- 日本語改定版が完成しました



ダウンロードはこちら  
<https://bit.ly/3A5QjFI>



自然災害や紛争などの緊急下で、子どもたちを暴力や搾取、虐待、ネグレクトから適切に守るため、あるいは被害を未然に防ぐために支援関係者が最低限守るべき国際基準「人道行動における子どもの保護の最低基準」(CPMS)があります。CPMSは、シリア難民やロヒンギャ難民支援など世界の子どもの支援に加え、日本国内の緊急支援においても、私たちの活動の指針となっています。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが2018年に日本語版を発表して以来、国内の子ども・子育て支援団体からも、子どもの保護の重要性を認識したという声が聞かれるようになりました。

今回、CPMSが改訂されたことを受け、複数の支援関係者と共同で翻訳し、2021年7月に日本語の改訂版が完成しました。支援の原則や考慮すべきことなどが活動や支援分野別に記載されています。

**災害時、子どもの支援に関わる可能性のあるすべての人に活用していただきたい内容です。**

私たちは、今後も他団体と協力しながら普及を進め、緊急時に子どもたちが適切に守られ、安心・安全に過ごせるよう取り組んでいきます。

## 「子どもの声が、世界を、変える」

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもの権利が実現された世界を目指し、子どもたちの声を聴きながら、子どもたちとともに国内外で子ども支援活動を行っています。

私たちの活動の理念や想いがつまった活動紹介動画「子どもの声が、世界を、変える」が完成しました。

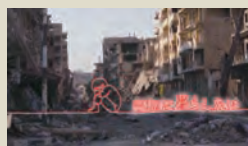
この動画を通して、多くの方が子どもの権利を守るために活動するセーブ・ザ・チルドレンへの関心を高めてくださることを願っています。

ぜひご覧ください。

動画はこちら



# 子どもの声が、 世界を、変える。



Save the Children

## 気候危機と大規模災害から 日本と世界の子どもたちを いま、守る

サイクロン「ハロルド」が襲い破壊された家屋の横にたたずむ  
15歳のジェニーさん(バヌアツ・2020年4月)

© Gordon Alick/Save the Children

支援活動にご協力ください 子どもを守るシェルターキット一式(テント、ブランケット、マット)を提供できます。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

### 編集後記

今夏、日本をはじめインド、中国などのアジアやヨーロッパでも大雨による洪水などが発生し、子どもたちにも深刻な影響を及ぼしました。本特集で取り上げた子どもたちの声を通して、気候危機や大規模災害の問題について皆さんと一緒に考える機会となれば幸いです。(編集担当:鳥養)

表紙写真:大型ハリケーンによる洪水で橋が崩壊した川を見つめる子ども。(ハイチ、2016年10月撮影)



Save the Children

[www.savechildren.or.jp](http://www.savechildren.or.jp)

セーブザチルドレン 検索



セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。子どもの権利が実現された世界を目指し、100年以上にわたり活動しています。

\*この冊子の印刷におきましては、協和オフセット印刷株式会社にご支援いただきました。



この冊子はFSC®認証紙を使用しています。



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン ニュースレター No.79 2021年9月発行 発行元:公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F ご支援に関するお問い合わせ: 03-6859-0068